

みずくらいど

校長 加藤雅弘

「？」⇒「予想」⇒「確かめる・調べる」

先週の金曜日は離任式でした。本校を去られた先生方が6名お見えになり、別れがたい想いを児童と分かち合っておられました。また、6名お一人お一人の挨拶の言葉からは「あふれ出る皿沼愛」が感じられ、本当に良い学校に着任したのだなと実感した次第です。

さてその先生方にお別れを言い、理科室に来ていた4年生から質問をもらいました。

「校長先生。『みずくらいど』って、何ですか？お母さんも疑問に思っています。」

校長室通信に興味をもっていていただいていること、大変嬉しく思います。その場で私が回答することもできますが、せっかく疑問をもっていていただいたので、自分でも調べてみるように促しました。インターネットで少なくとも意味は調べられます。

日常の学習でも疑問をもつことから始まるのが理想的です。できればその「？」(ハテナ)に対して自分なりの予想がもてれば申し分ありません。そして、その予想が合っているかどうかを確かめる(調べる)というように進んで行ければ最高です。このように主体的に関わって獲得した知識は、他の知識と関連付けられ構造化して組み込まれて定着するとともに、いつでも取り出して使うことができるからです。暗記的に覚えた知識やただ聞いて知っただけの情報は、すぐに忘れてしまいますし、覚えていても、適切な時に取り出して活用することは難しいのです。

児童のみなさん、ぜひ、学習の際は「？」

(いつ、だれが、どこで、なにを、どのように、なぜ、5W1H)を意識して、さらに自分なりの予想も立ててから調べてみてください。これは授業でもご家庭での自主学習でも同様です。さて『みずくらいど』について、前述の児童には、意味を調べてきたら、この紙面で意味と理由を載せると伝えてあります。もし、同じような「？」を感じている方がいらしたら、調べた上で「なぜ、校長室通信のタイトルが『みずくらいど』なのか」も予想してみてください。この最後の段落は児童宛の文章になっています。今後も、このように対象者が入り交じることがあります。保護者の皆様、ぜひ通信の内容をお子様と共有していただければ幸いです。